

普段とは違う視点から見た23区、  
知ればもっと面白い!

# クマなく さんぽ

荒川区



あらゆる世代に向けた新発想の複合施設

## 「ゆいの森あらかわ」 開館!



3つの機能を樹木と本で表現した  
ゆいの森あらかわロゴマーク

平成29年3月26日、荒川区立「ゆいの森あらかわ」がオープンしました。中央図書館と吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばの3つの機能が一体となり、乳幼児から高齢者まで、全ての世代の方が利用できる新しい魅力がいっぱいの施設です。

### 新しい発想の魅力ある複合施設

都内最大級の約60万冊の蔵書と約800席の座席を備えた『中央図書館』、荒川区出身で『戦艦武蔵』、『三陸海岸大津波』等で著名な作家・吉村昭氏を記念する『吉村昭記念文学館』、親子の安全な遊び場と小・中学生の居場所を提供する『ゆいの森子どもひろば』が一体となった施設です。地上5階建ての建物は、フロアの壁や間仕切りをなるべく少なくし、吹き抜けを通じて全階をつなぎ、全体的に融合された構造となっています。



ゆいの森あらかわ外観(イメージ)

### 災害発生時には防災拠点になります

もう一つ大切な要素が、防災拠点としての機能です。災害時には乳幼児の避難所として活用できるよう、乳幼児用に必要な備蓄品や発電機を準備しています。また、免震構造の採用、備蓄倉庫、下水道が機能しなくなった時の汚水用ピットなどを備えています。

震災直後からこころのケア等、さまざまな課題に沿った本を提供できるよう準備が進められています。



開放感のある「ゆいの森ホール」(イメージ)



吉村昭氏の書齋再現(イメージ)

### ■地域のコミュニティの拠点となる施設構成

1階には、大人から子どもまで誰もが楽しめる約3万冊の絵本を所蔵した「えほん館・おはなしの部屋」を中心に、コミュニケーションの場を設けました。イベントのない時は閲覧席等に活用できる絵本に囲まれた「ゆいの森ホール」、遊びを通じた発育を促す遊具を設置した「あそびラウンジ」、保育士が常駐し、子育て世代を支援する「託児室」なども設置されています。

2階には、体験キットやワークショップ等を提供し、子どもたちを遊びから学びへとつなげる「体験エリア」、小中学生の居場所となる「学びラウンジ」があります。

### ■書齋を体感できる「吉村昭記念文学館」

2階にある吉村昭記念文学館では、吉村昭氏の自宅の書齋が再現され、執筆の臨場感が演出されています。また、吉村氏の作品はもちろんですが、執筆に当たったの主な取材先や作品に登場する荒川区も紹介しています。紹介映像等の閲覧もでき、ミニ朗読会なども開催されます。

### ■荒川区の交流都市等関連資料を展示

荒川区の交流都市等から寄贈された地域資料を1階エントランスコーナーに展示しています。交流都市を紹介するコーナーは都内ではめずらしく、新たな観光情報の発見にもつながります。

色々な所へ  
出掛けたいかな。



### 「ゆいの森あらかわ」案内

**所在地** 荒川区荒川12-50-1  
(最寄駅 都電荒川線「荒川二丁目」徒歩1分、  
東京メトロ千代田線・京成線「町屋駅」徒歩8分)

**問合せ先** 03-3891-4349

**開館時間** 午前9時30分～午後8時30分

**休館日** 第3木曜日、年末年始、特別整理期間